

全国金魚すくい選手権大会 第30回大会までの軌跡



～延べ参加選手44,705人～

第2回大会

大会マスコットキャラクターの愛称が募集されました。たくさんの応募があり、12人から同名で応募があった「きんとつ」とに決定！



第19回大会



現在も活躍している「きんとつ」と「でめつきー」の着ぐるみが初のお披露目！大会にはせんとくんも駆けつけ、会場を大いに盛り上げてくれました。

第1回大会

平成7年、当時観光協会会長であり「金魚博士」の異名を持つ石田 貞雄 氏の発案により、遊びである「金魚すくい」をスポーツ化した当大会が行われました。大会には、当初の定員を大きく上回る900人が参加。小中学生の部の優勝者は26匹をすくった市内の上林 大起さん(当時8歳)でした。



第5回大会



大会中にウルトラクイズが行われました。優勝者には4日間のゲームペアチケットが授与されました。

特集 FEATURE

そして・・・

平成7年から始まった全国金魚すくい選手権大会は今大会で第30回を迎えます。記念すべき今年の大会では、様々な催しを実施!!

過去の大会の成績上位者達による「グランドチャンピオン大会2025」を開催

競技中の音源を新たに作成

YouTubeによる大会生配信

10年以上愛用されたきんとつ・デメッキーの着ぐるみをリニューアル

30年の思ひを探しに
ぜひ会場へお越しください。



第20回大会



全国大会を2日間開催。第1回～第19回までの大会優勝者のみで競われたグランドチャンピオン大会やマーチングバンド演奏、きんぎょねぶたの設置など内容盛りだくさんの大会になりました。

令和2年・第26回大会

新型コロナウイルスの感染が拡大し、令和2年度の大会と第26回大会の全国大会は中止となりました。この時期に行いました「金魚で地球を救おう!」の金魚折り紙募集では、全国から50,000尾の折り紙が届き、温かいメッセージがたくさん寄せられました。

